

【予告】

令和7（2025）年度大学院美術研究科博士前期課程入試より、美術研究科陶磁領域において試験科目を変更します。

令和7年度大学院美術研究科博士前期課程入試より、陶磁領域の実技（平面表現）試験を廃止し、試験科目は、作品審査と作品プレゼンテーション及び口頭試問に変更となります。これに伴い、評価基準及び点数配分が変更となります。

（変更前）

領域	試験科目 点 数	評価基準
陶磁	実技（平面表現） 300点	基礎的描写力に加え、画面構成力、造形力を評価する。
	作品審査 700点	陶磁制作の基礎と研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。（作品審査にかかる面接も含む）



（変更後）

領域	試験科目 点 数	評価基準
陶磁	作品審査 500点	陶磁創作・表現・デザインにおける研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。
	作品プレゼンテーション 及び口頭試問 500点	

試験内容及び方法

■作品審査について

提出すべき作品等は以下のとおりです。

① 作品3点（セットものは1点とする。）

② ポートフォリオ 1冊

- ・作品や活動記録をA4サイズファイル1冊に整理したもの。
- ・ポートフォリオのレイアウトや表現形式は、自由。
- ・提出資料には、タイトル・作品サイズ・制作年・素材・技法などの情報や必要に応じて補足説明文を付記すること。活動記録については、自身が担当した内容がわかるように補足説明文を付記すること。

■作品プレゼンテーション及び口頭試問について

提出作品とポートフォリオ及び研究計画に関するプレゼンテーションに対して、口頭試問を行います。